

円安による原材料の価格上昇分

52.3%が販売価格に転嫁できず

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の149社。2位が「原材料価格の上昇」の64社。「ニーズの変化への対応」が53社で3位。
- ★ 「円安による原材料の価格上昇分を販売価格に転嫁できているか？」について、「ほとんど転嫁できていない」が35.0%（75社）で最多。「まったく転嫁できていない」の17.3%（37社）と合わせ、52.3%（112社）が価格転嫁が出来ておらず、「転嫁できている」10.3%（22社）と「ほぼ転嫁できている」21.5%（46社）を合わせた31.8%（68社）を大きく上回る。また、「原材料価格は上昇していない」は15.9%（34社）
- ★ 「現在の雇用人員」について、3分の2にあたる67.3%（152社）が「適正」と回答。「不足」が28.3%（64社）で、「過剰」はわずか4.4%（10社）。

平成27年1～3月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成27年4月に実施した第100回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が100回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は231社（小売業67社、卸売業29社、製造業32社、建設業58社、運輸・交通業16社、観光・サービス業29社）で回収率は46.2%。

【概況】

今期（1～3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲23.6と、3ヶ月前の前回調査から18.2ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.9%、「やや好転」が15.7%で、逆に「やや悪化」が29.3%、「かなり悪化」が10.9%だった。同様に、売上D.Iも21.5ポイント悪化して▲25.7。採算D.Iも12.4ポイント悪化して▲28.3。原材料（商品）仕入価格はやや低下して29.0。年末からの反動や季節的な要因もあり業況、売上、採算とも前期に比べ大幅な悪化。昨年同時期は消費増税の駆け込み需要もあり単純には比較ができないが、昨年同時期（業況▲7.0、売上▲3.0、採算▲18.2）に比べても大幅な悪化。

今回事業所に対し、「円安による原材料の価格上昇分を、販売価格に転嫁できているか」について尋ねたところ、「転嫁できている」10.3%（22社）と「ほぼ転嫁できている」21.5%（46社）を合わせた31.8%（68社）が転嫁できているのに対して、「まったく転嫁できていない」17.3%（37社）と「ほとんど転嫁できていない」を合わせた52.3%（112社）が価格転嫁できず、十分に価格転嫁が進んでいないという調査結果となった。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

業況DI	（好転割合）	—	（悪化割合）
売上DI	（増加割合）	—	（減少割合）
採算DI	（好転割合）	—	（悪化割合）

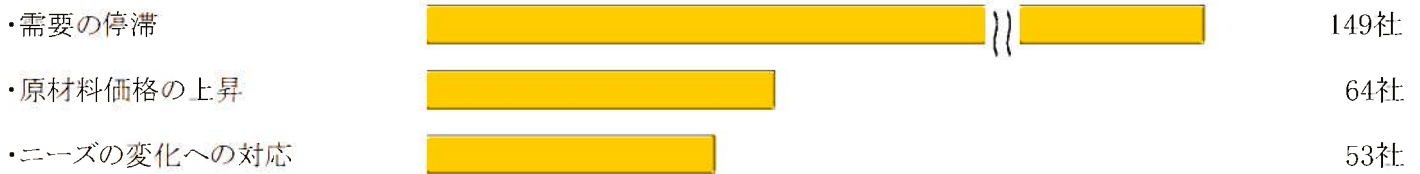
業況は、全業種合計で今期▲23.6。業種別では、6業種すべてで悪化。特に、卸売業（0.0→▲37.9）、製造業（5.6→▲25.0）、観光・サービス業（▲13.3→▲40.7）が20ポイント以上の大幅悪化。

売上は、全業種合計で今期▲25.7。業種別では、運輸・交通業を除く5業種で悪化。業況同様、卸売業（10.0→▲34.5）、製造業（13.9→▲31.3）、観光・サービス業（▲12.9→▲39.3）が20ポイント以上の悪化。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期29.0。ここ1年で見ると少しずつではあるが下降傾向にある。前年同期（46.7）に比べ17.7ポイントの改善。

採算は、全業種合計で今期▲28.3。業種別では、小売業、運輸・交通業を除く4業種で悪化。運輸・交通業では、原油価格下降の恩恵もあり▲27.8から▲6.3と大幅改善。しかしながら、他の業種では、原油価格下落の恩恵以上に、円安による原材料費や仕入れ価格の高騰の影響もあってか、厳しい状況が続く。

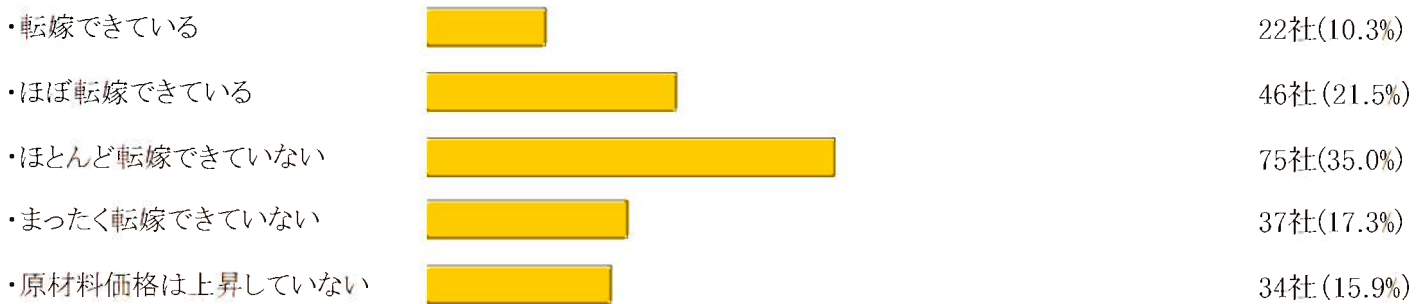
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



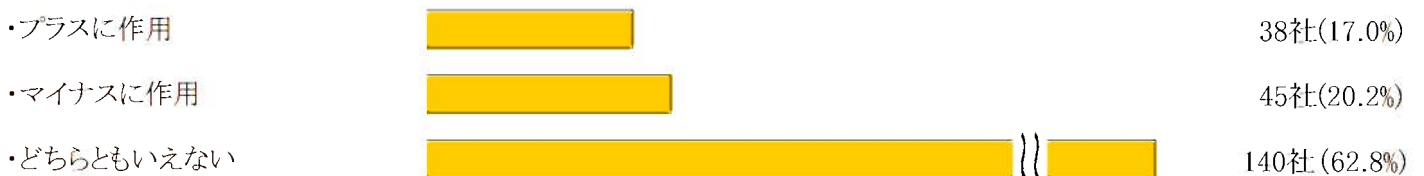
【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】



【円安による原材料の価格上昇分を、販売価格に転嫁できていますか？】



【一年前に比べ、現在の原油価格は事業活動でどのような影響がありますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 23.6	▲ 23.2
小売業	▲ 22.4	▲ 32.8
卸売業	▲ 37.9	▲ 20.7
製造業	▲ 25.0	▲ 28.1
建設業	▲ 10.3	▲ 19.0
運輸・交通	▲ 18.8	▲ 25.0
サービス業	▲ 40.7	▲ 3.8

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 25.7	▲ 27.0
小売業	▲ 28.4	▲ 31.8
卸売業	▲ 34.5	▲ 21.4
製造業	▲ 31.3	▲ 25.0
建設業	▲ 10.3	▲ 33.3
運輸・交通	▲ 18.8	▲ 18.8
サービス業	▲ 39.3	▲ 14.8

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

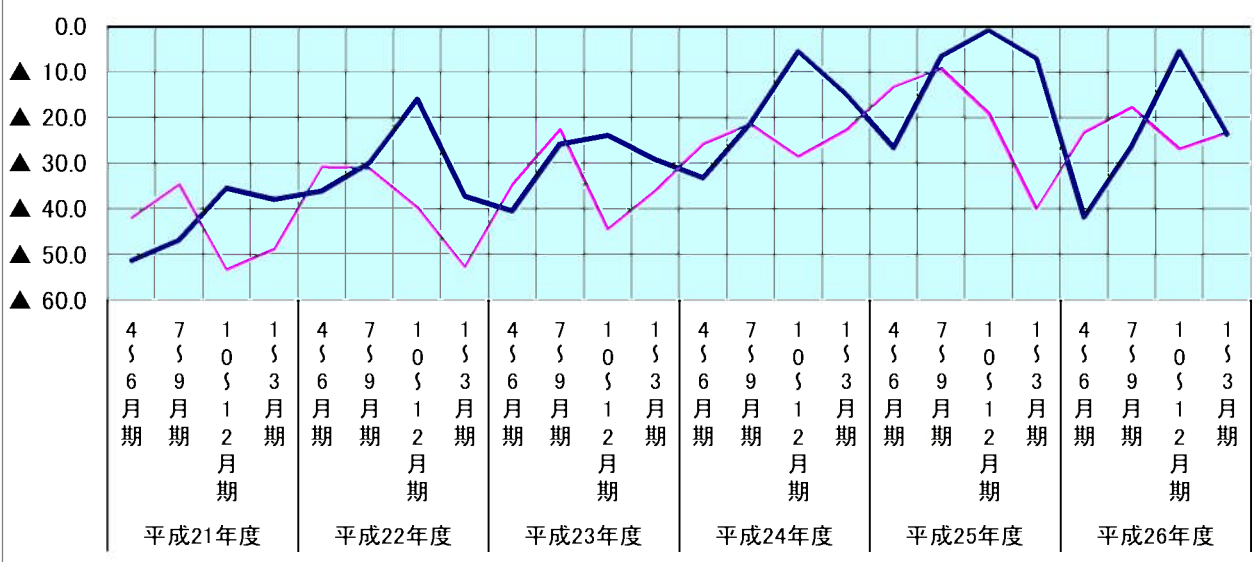
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 28.3	▲ 29.5
小売業	▲ 19.4	▲ 36.9
卸売業	▲ 48.3	▲ 32.1
製造業	▲ 40.6	▲ 25.0
建設業	▲ 20.7	▲ 28.1
運輸・交通	▲ 6.3	▲ 18.8
サービス業	▲ 42.9	▲ 23.1

(好転割合－悪化割合)

全業種

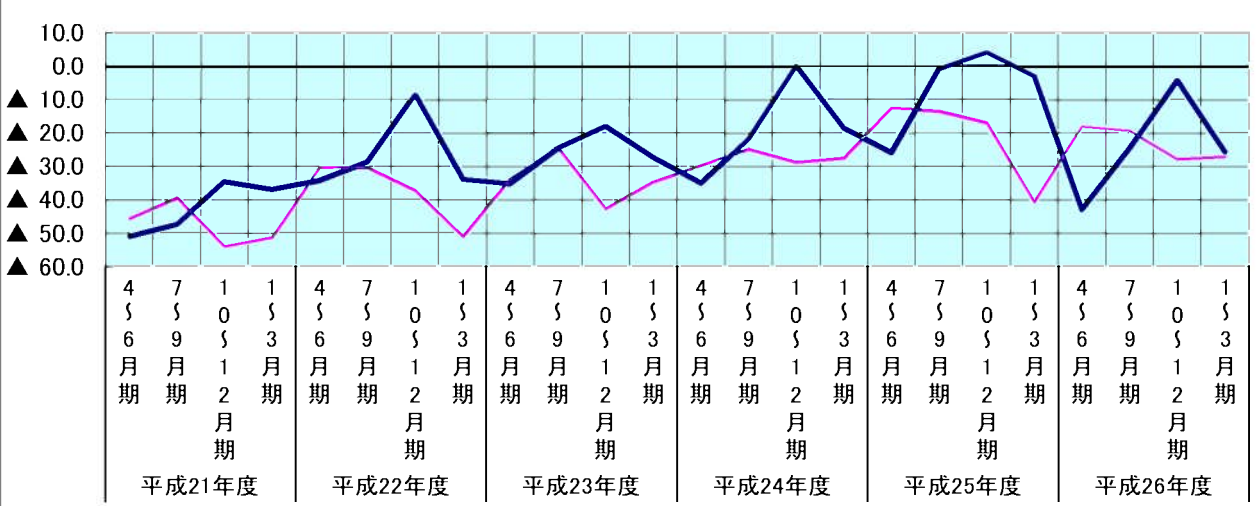
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



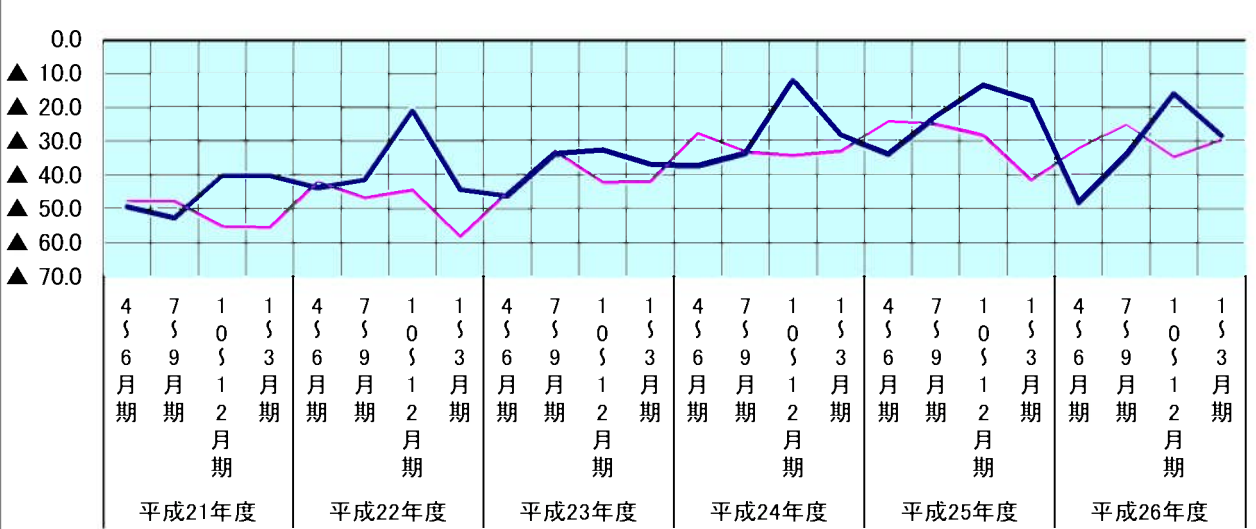
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
卸 売 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
建 設 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1 月 ~ 3 月 実 績			
	4 月 ~ 6 月 見 通 し			

景気天気図の説明



大変良い



良い



まあまあ



少し悪い



悪い



大変悪い